

## 提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : ひょうご新観光戦略

意見募集期間 : 令和5年1月13日(金)～令和5年2月2日(木)

意見等の提出件数 : 8件(6名)

県の考え方の表記について :

【意見を反映】…意見等を反映したもの(1件)

【本文の趣旨に一致】…意見等の内容が既に記載されているもの、戦略に記載はないが趣旨が含まれているもの(2件)

【今後の取組の参考】…今後、観光戦略を推進する上で参考とするもの(5件)

【対応困難】…対応が困難なもの(0件)

番号	項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
1	持続可能な経済循環(P47)	地域にお金が巡る仕組みとして、コンテンツ事業者、地域のお土産店、食事施設に加え、地域の交通事業者にもお金が巡るような事業の検討・二次交通機関の情報発信を進めていただきたい。	1	<b>【本文の趣旨に一致】</b> 本戦略の基本戦略として「持続可能な観光地域HYOGO」を掲げており、持続可能性の確保は重要な視点と考えています。ご指摘のとおり、観光を通じて得た経済的利益が域内で循環するよう留意の上、取り組んでいきます。
2	目標(P50)	KPIのうち、「外国人の延べ宿泊者数」の2027年目標値が300万人に設定されているが、2025年にインバウンドが2019年水準(137万人)へ回復する予測から考えると、多すぎではないか。	1	<b>【今後の取組の参考】</b> 従前、インバウンドの本県への来訪は宿泊が少なかったことから、旅の高付加価値化・長期滞在化を推進することで、延べ宿泊者数300万人を目指していきます。
3	観光人材の育成(P67)	インバウンド対応には、テロワールのコンテンツに精通した通訳案内士の育成だけでなく、十分なテロワール知識がなくても全行程コーディネート的役割のスルーガイドも必要。	1	<b>【今後の取組の参考】</b> まずは着地で魅力を具体的に伝えられるガイドの育成を進めながら、ご指摘のスルーガイドも含め、広域周遊のニーズに対応できる人材の育成に努めていきます。
4	観光人材の育成(P67)	観光人材の確保について、短期雇用のマッチングや特定地域づくり事業協同組合のマルチワークなどは対処療法的取組で、本質的な課題に対する有効な取組がないことが課題である。実質的に人材増加	1	<b>【本文の趣旨に一致】</b> ご指摘のとおり、未来の観光産業を担う人材を若年段階から育成するほか、観光産業で働く魅力のPR等を講じて人材確保に取り組んでいきます。あわせて、人材不足に伴

番号	項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
		に向けた取組を小さくとも取り組んでいくことが重要。		う稼働制約により機会損失を生むことがないように、短期雇用への対処等足下も見据えながら中長期の時間軸で取り組んでいきます。
5	交通アクセス (P68-69)	県内各地で地域を深掘した体験を楽しむためには、アクセスが重要となる。特にインバウンドをターゲットにした場合、レンタカーではなく公共交通機関の移動が想定されるため、地域のバス、タクシー、私鉄との連携を重視していただきたい(例：最寄り駅からの貸し切りタクシープラン、フィールドパビリオンの体験料とバス・私鉄のセット券の販売、プロモーション時の二次アクセスの案内など)	1	<b>【今後の取組の参考】</b> 交通事業者との連携はインバウンド誘客や環境配慮型観光の観点からも重要な視点であり、兵庫ステーションキャンペーンのプレキャンペーンで実施した「めぐる兵庫体験バス」など、こうした連携事業を積み重ねながら今後も取り組んでいきます。
6	多様な旅行者への対応 (P73)	ヴィーガン、ベジタリアン、プラントベースなど食の多様性への対応を充実化すべき。市場としても無視できない規模であり、新たな需要の獲得にもつながる可能性があるほか、兵庫観光の強みの1位が食である以上、兵庫五国の食材を活かした食の多様性への対応は、差別化して発信できる可能性を秘めている。	1	<b>【意見を反映】</b> ご意見を踏まえ、73ページに「ヴィーガン、ベジタリアン等の多様な食習慣の理解促進に向けた普及啓発、対応状況の情報発信」を記載しています。
7	誘客契機 の活用 (P77、85)	大阪・関西万博、神戸空港国際化に依存しすぎている印象がある。もっと姫路を中心とした誘客を図るなど、過度に特定の事象に依存しないよう留意が必要	1	<b>【今後の取組の参考】</b> 新戦略では、関西と瀬戸内の結節点にある好立地を活かした大交流圏を形成の上、誘客を図ります。兵庫が結節点として機能する上で姫路地域の果たす役割は重要であり、2023年に世界遺産登録30周年を迎える姫路城の魅力を活かした誘客など、大阪・関西万博・神戸空港国際化以外の誘客契機も活かしながら、取り組んでいきます(77ページ参照)。

番号	項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
8	神戸空港国際化(P86)	<p>神戸空港国際化は大きなチャンスであり、インバウンドを取り込むために以下の具体的な取組をしてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和の下町の雰囲気を感じられる映画村の設置</li> <li>・鳴門大橋の床をガラス化し、歩行者へ開放</li> <li>・神戸市北区二郎地区のイチゴの活用、そこでしか食べれない観光農園の提供</li> <li>・南京町と元町駅間の回遊性向上に向けた陸橋設置、関帝廟などの魅力向上</li> <li>・牛井チェーン店と神戸牛がタイアップしたメニュー展開等</li> </ul>	1	<p><b>【今後の取組の参考】</b></p> <p>ご指摘の内容のとおり、県内には魅力あふれる観光資源が多数充実しているため、こうした資源に根付くルーツ（風土、気候や人々の生活）やストーリーを活かしながら兵庫テロワール旅コンテンツを一つずつ磨き上げていきます。ご提案のあった具体的事業について、今後の取組の参考とさせていただきます、今物見遊山に留まらない、コト消費、モノ消費につながる観光に取り組んでいきます(55 ページ参照)</p>